MAF-628F AQ26 2013年2月1日発行

- ●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
- ■施工される方へのお願い
- ●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

↑ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。 冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

A 注 意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- ●母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に、設置してください。
- ●本製品は、木造住宅の2階以下に取付ける設計になっています。 3階以上の高所には取付けないでください。
- ●それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
- ·特殊地域用1500形→積雪50cm以下
- ·特殊地域用3000形→積雪1m以下
- ●柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ●他社商品(バルコニー)と組合せて設置しないでください。
- ●風の強い場所では、補強ブレスで製品を補強してください。
- ●崖っぷちなどの高低差のある場所には設置しないでください。
- ●風当たりの強いところでは、風が抜けなくなりますので、テ ラスの周囲を囲わないでください。

■躯体への固定

- ●躯体に取付けずに、独立で取付けることは絶対にしないでく ださい。
- ください。躯体位置が分からない場合、および躯体の強度が 保持できない場合は取付けないでください。
- せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ●プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非 ■パネルについて 常に危険ですから、絶対に行なわないでください。
- ●タッピンねじの下穴には、指定された下穴より太いドリルを **■施工上について** 使用しないでください。

■部材の固定

●組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。 又、使用中ゆるまぬように締付けてください。

■施工時の足場について

- ●施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにして ください。
- ●取付け時は、野縁と垂木以外のところにはのらないでください。
- ■基礎について
- ●基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ●基礎には、海砂および急結剤を使わないでください。柱が腐 食するおそれがあります。
- ●施工前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響を およぼさないようにしてください。
- ●寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線 の下まで基礎を設けてください。
- ●柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ず ぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(*φ*6)をあけ てください。柱間の水が凍結膨張し柱が破損するおそれがあ ります。
- ●タッピンねじは柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めて ●養生期間は十分(4日~1週間以上)にとり、養生期間中は重た いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について

- ●躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は施主さまと打合わ ●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するとき は、絶縁処理をしてください。

 - ・屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

 - ●みだりに改造・変更をしないでください。
 - ●当社指定の付属品以外は取付けないでください。
 - ●施工は専門業者が行ってください。
 - ※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ●シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてく ださい。

■施工上のお願い

- ●通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分にご注意ください。
- ・当社が表示した「■取付けされる方へのお願い」を守っていなかった場合。
- ・当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合。
- ・製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
- ・製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲以外のもの(波板など)。
- ・当社以外のバルコニーと組合わせた場合。
- ●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

■取付け方法 ■柱基礎 ■出幅9尺の場合 ●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。 ※土など、基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に 垂木キャップ 水こう配をつけてください。 (前枠側) 垂木キャップ 角柱 -(垂木がけ側) 垂木がけ 水抜き穴(φ8) ナットM5 アンカー 垂木を増やす 補強垂木 トラスタッピンねじ- *φ*5×12 (3種) ぐり石・ ●下記の要領で各部材を加工した後、垂木と垂木の間に 補強垂木を一本ずつ取付けます。出幅9尺の場合(補 強垂木の垂木がけ側と前枠側に垂木キャップを取付け <ナベ小ねじ てください。) M5×70 ※補強垂木が増えますので、けた挿入ボルト(M (Wセムス) 500 – けた取付け金具 5×12六角ボルト)数を増やしてください。 G L 六角ボルトM5×12 1.0間…4本 (垂木増加分増やす) 1.5間…6本 2.0間…8本 ナットM5 ●その他の組立てについては、1500形及び600形・_{トラスタッピンねじ} −ワッシャーM5 けた3 出幅9尺と同様に行ってください。 φ5×12 (3種) ■長さ部分の加工 -●前枠 ●垂木がけ ●野縁 ●1.0間 ●1.5間 ●2.0間 925 925 920 912.5 912.5 562.5 562.5 557.5 920 557.5 550 550 ϕ 6穴あけ <u>|22</u>| ∕_ø5穴あけ ϕ 6穴あけ 10 2050 2955 3850 ■参考納まり図 ●3000形 縦断面図 ●1.5間 ●2.0間 ●1.0間 10° <u>1254.2(3R), 1559.2(4R), 1864.2(5R), 2164.2(6R)</u> 100 100 L=3650 100 100 L=1850 100 100 L=2755 5.5 13 25 43.5 13.8 h=2550 20 500 37 35.5 7.5 7.5 15 ●1500型9尺(テラス) ▷ ●3000型3~6尺 (テラス) L=885(3R),1185(4R), No. 1485(5R),1785(6R) 35 40 22 h1=2704(3尺), 2809.8(5尺) 35 103. D=2685 (9尺) 30 6尺用垂木 2704(3R),2756.9(4R), 2809.8(5R),2862.7(6R) (9尺) 43.6 10° 10° 356.5(3尺), 356.8(4尺), 357.2(5尺), 352.7(6尺) D=885(3尺), 1185(4尺), 1485(5尺), 1785(6尺) 3055.9 h=2550 h=2550 ●1500形 出幅9尺 縦断面図 300 300 5.5 13 25 10 3074.2(9R) 43.5 35 13.8 2 101.5 20 26 35 7.5 37 35.5 140.5 40 22 1=2550

30

43.6 70

348.8

D=2685(9尺)